

ONSA ニュース

第 34 回みんなのくらしと放射線展	1
第 65 回 UV/EB 研究会聴講記	3
平成 29 年度第 1 回見学会「住重アテックス株式会社 電子線技術部関西センター」見学記	10
第 63 回放射線科学研究会聴講記	12
平成 29 年度第 2 回見学会の予定	21
今後の研究会、シンポジウムの予定	22
ペルチェ冷却式高性能霧箱のご案内	23

一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会
〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-3-27
TEL : 06-6282-3350, FAX : 06-6282-3351
e-mail : onsa-ofc@nifty.com
URL : <http://onsa.g.dgdg.jp>
発行 : 平成 29 年 9 月

第 34 回みんなのくらしと放射線展

第34回みんなのくらしと放射線展は、8月5日（金）から7日（日）の3日間、大阪科学技術センターで開催された。これは子供たちに、放射線がくらしの中の様々な分野で役立っていることやその性質を楽しく紹介し、放射線を身近に感じてもらうと共に、科学技術への興味を喚起する機会を提供することを目的とするもので、大阪府立大学研究推進機構及びONSAを含む9団体で構成される「みんなのくらしと放射線」知識普及実行委員会が主催し、文部科学省や大阪府等の公的機関と大阪科学技術センターの後援により、毎年夏に開催されている。今年は昨年より半日増えて、3日間午前10時から午後5時まで、連日晴天の猛暑日の中での開催であった。写真1は受付風景である。

放射線展では「くらしの放射線探検隊!」、
「放射線探検ラリー」、「放射線ガイドツアー」、「放射線測定体験ツアー」、「放射線親子セミナー」、「ハイスクール放射線サマースクール」等の催しが行われた。くらしの放射線探検隊!の展示コーナーには「放射線ってなんだろう?」、「放射線は体にどんな影響を与えるの?」、「放射線をはかってみよう!」、「放射線をみよう!」、「レントゲンの不思議を発見しよう」、「医療に役立つ放射線」、「農業に役立つ放射線」、「工業に役立つ放射線」、「放射線実験コーナー」、「放射線滅菌展示コーナー」「関西の原子力・放射線研究施設」の展示パネルや展示物が設置された。WSゾーンの科学工作教室では霧箱工作等が行われた。ステージでは放射線ビンゴ大会、放射線〇Xクイズ大会、わくわくサイエンスショウ、放射線ビギナーズ講座が開催された。盛りだくさんの内容で、参加者が各コーナーで自由に放射線について学ぶことができるように工夫されている。写真2は参加者で賑う展示コーナーの様子である。写真3は大阪科学技術館の名誉館長「テクノくん」の来場に喜ぶ子供たちである。



写真1 大阪科学技術センター入口の受付。

放射線親子セミナーは、①村田直之氏によるおもしろサイエンスショー、②放射線ガイドツアー、③家庭用掃除機を使った工作教室に用いる放射線源用チリ集めの見学、④放射線測定器を用いたフィールドワーク及び⑤霧箱工作と合計2時間半のコースである。子供たちがガイドツアーやフィールドワークを行っている間に、保護者を対象とする放射線のことがもっとわかる講義が開催された。

大阪科学技術センターの地下室で掃除機を用いて集めたチリを、霧箱の線源として放射線の軌跡を検出したことで、放射性物質がどこにでもあることが親子共々良く理解できたと思う。

本協会で受託販売しているペルチェ冷却式高性能霧箱も6点展示された。写真4はそれを覗き込む子供たちである。

ハイスクール放射線サマークラスには6校が参加して、放射線について生徒自らが調べ、科学的に考えたことを学校対抗で発表した。その内容に対し、出場した高校生が質問し回答がなされた。

各発表に対して大阪府立大学の諸先生方が講評や今後の進展のためのアドバイスを与えた。最優秀賞を大阪府立大学工業高等専門学校が、審査委員特別賞を京都府立桃山高等学校と福井県立若狭高等学校が授賞した。大阪府立大学の辻学長も参加し、全ての発表を聴講された。表彰式の後に毎年の発表内容が向上し、聞くのが楽しみであるとの感想を述べられた。

幸いにも迷走台風5号の速度が遅く、大阪到来は8日の午後であったので影響は無かった。開催スタッフの努力により、イベントの内容は毎年進化している。子供だけでなく大人も十分に学び楽しむことができる。来年にはONSAの会員の皆様にもぜひ多数参加して頂きたい。



写真2 展示コーナー。



写真3 テクノくんと子供たち。



写真4 ペルチェ冷却式高性能霧箱の展示コーナー。